

しっかり じっくり 家庭学習

～家庭学習の手引き～

長野市立共和小学校

共和小学校では「共に学び、共に遊ぶ」の学校目標の下、確かな力をつけられるよう、授業の中で様々な学習や活動に取り組み、それらの活動の中で確かな学力の向上を図っているところですが、より確かな基礎的学力を身に付けるには、家庭での学習が不可欠です。

そこで、家庭学習の進め方について手引きをまとめました。お子さんと一緒にご覧いただき、家庭学習の手助けとしてご活用いただけると幸いです。



1 本校で考える家庭学習の在り方

<基本的な考え方>

- 読み、書き、計算など基本的な学習内容を確実に身につけるために毎日くり返し、学習することが大切です。 **(基礎的・基本的な学習内容の定着)**・ **(学習習慣の確立)**
- 時間を計画的に運用し、有効に使えるようになるために、自分で生活のけじめをつけられるようになることが大切です。 **(自己調整する力の伸長)**
- 自分で課題を見つけ、追究するという学びの習慣や方法を身につけるために、進んで取り組むことが大切です。 **(自学自習の力の伸長)**

以上3点の考え方から



「自ら問い・課題をもち、自ら学びを進めていく力」を伸ばしていくための家庭学習

を6年間で系統的に行えるようにしていきます。

<学年ごとの様子>

≪1・2年≫家庭学習を習慣化していく基本となる時間です 学習目安 20～30分

- ・できるだけお家の人と楽しく学習をしましょう。
(児童センター等で宿題をしたらお家の人に見てもらいましょう)
- ・ていねいに書くことや計算することを大切にしましょう。
- ・えんぴつの持ち方もたしかめながらすすめましょう。

≪3・4年≫学習を自分からすすんで進める芽を育てましょう 学習目安 30分～40分

- ・どんなことを学習しているのか、お家の人とお話ししましょう。
- ・ていねいに正確に書くことを大切にしましょう。
- ・決められた時間に自分から進んで行うことを大切にしましょう。

≪5・6年≫学習に対する自主性を育てましょう 学習目安 40分～1時間

- ・自分のペースで、ていねいにじっくりと取り組みましょう。
- ・学習したことを、ときどきお家の人に見ていただきましょう。
- ・自分の目標や課題に向けて学習を進めましょう。予習をするのも良いでしょう。

2 自主学習を進めるために～各教科からのアドバイス～

≪国語≫

- 教科書や借りてきた本を音読しましょう。(声に出す→耳から再確認で読み取り力UP)
- 新聞にふれましょう。(土曜版の子ども新聞(信毎)は、中・高学年におすすめです)
- 教科書や借りてきた本の好きな部分を視写しましょう。
- 自分のアイデアで詩やエッセイ、レポートなどに挑戦してみましょう。
(ニュースや読書など生活の中で気にとめたものを)



《算数》

- その日学校で学習したことをもう一度ノートにまとめてみたり、ドリルをくり返しやってみたりするのもいいですね。
- 低学年ではお手伝いや遊びの中にも算数がたくさん含まれています。
※ 「折り紙」や「洗濯物たたみ」は図形の学習に、3つずつお皿に盛りつけたり同じ量に切ったりすればかけ算・わり算・分数の学習へとつながります。



《社会》



- テレビでも新聞でも何でも、お子さんがきょうみを示したものがあれば、「どうしたの?」「何してるの?」と声をかけ、いっしょに考えることでお子さんが「何だろう。」を考える機会をつくってあげてください。
- ニュースなどで知らない国や地名が出てきたら、地球儀や地図などで場所を探してみてください。国旗や地図をかいてみるのもいいですね。

《理科》

- 理科の学習で大切なことは、授業で学んだことを実際の日常生活の事象で五感を使い体験して確認することです。ぜひ、親子で五感を使い自然に親しんだり、簡単な道具でできる理科実験を楽しんだりしてください。
- 地域の科学イベントに参加することも、科学に対する知的好奇心を喚起する機会となります。



《外国語》

- 興味を持った外国の国について新聞や本などで調べてみるといいですね。日本の国と似ているところや違うところを比べながら見ていくと楽しいですね。
- 日常生活の中でアルファベットや英語を使ってみることもとてもよい学習です。



《生活・音楽・図工・家庭・体育》

- それぞれの教科の内容にそった学習に取り組んでみると良いでしょう。「自然に触れること」「歌や楽器にふれること」「絵をかいたり物を作ったりすること」「体を動かすこと」などに取り組んでみましょう。

3 おうちの方へのお願い ～安心・集中して学ぶことのできる家庭の環境づくり～

- 生活のリズムを整えましょう
 - ①「早寝・早起き・朝ごはん」や朝の排便など、規則正しい生活が大切です。
 - ② テレビやゲームは、使い方のきまりを子どもと共につくり、子どもが守れるようにしましょう。
- 学ぶ雰囲気をつくりましょう
 - ①学習場所では、学習に集中できるようにテレビを消してやるようにさせましょう。
 - ②学習時間については、「下校後すぐ」や「〇〇時から」など、具体的に決めておくことも大切です。
 - ③身の回りの整理整頓をさせましょう。(机の上は、学習に使うものだけ)
- 努力を認め、励まして下さい。
 - ①お家の方の励ましやほめ言葉が学習意欲のアップにつながります。やろうとする気持ち・がんばりの姿・伸びの実感(できたこと)等への言葉がけをお願いします。

4 おわりに

家の中で学習することだけが学習ではありません。自然の中で体を動かしたり、家庭内でお手伝いをしたりしながら体験することは、とても大切な学習となります。また、そうした体験をご家族で話すことも言葉の世界を広げる大切な機会となります。そのような場も大切にいただければと思います。

